



たがの杜

～知性 公正 貢献～

地域運営学校
八王子市立たがの杜小中学校
(第二小学校・第四中学校)
学校だより 第7号
令和8年9月30日(水) 発行

本校が立地する地域の歴史を学び、そして語る

たがの杜小中学校 校長 北川 大樹

二小にいても、四中にいても、児童・生徒から「校長先生はいつも何をしているの？」と素朴に尋ねられることがあります。児童・生徒が分かるような気の利いた言葉が思いつかないので、ほとんどの場合「何をしているんだろうね？」等とはぐらかしています。実際は、「児童・生徒の危機管理」「児童・生徒の学校生活の様子及び教職員の業務遂行状況の観察・把握」「学校の教育環境整備」「10年後以降の地域と共にある本校の姿を想像して必要な仕組みづくり」「会議・打合せ・研修」にほとんどのエネルギーを注いでいる日常です。先の質問にこのように答えても、児童・生徒にはなかなか伝わらないですね。

ただ、運営・経営を任された学校が立地する地域の歴史を学び、子どもたちに語ることは校長の重要な役割の一つだと考えています。これまでも、二小・四中の歴史などを全校朝会や始業式・終業式等の校長講話で取り上げ、それぞれの学年等の発達段階に合わせて語ってきました。そういう意味では、全校朝会や始業式・終業式等は、普段はほぼ経営者である校長が教師になる機会です。

さて、地域の歴史に詳しい方々からお話を伺う機会を得ることが多いのは、本校が大きな節目にあるからなのかもしれません。それら一つ一つを楽しみながら学ばせていただいています。今回は八王子空襲の記録に触れ、その被害に心を打たれました。これらを記録した「八王子の空襲と戦災の記録 市民の記録編」(S63.3.30 八王子市郷土資料館編集、八王子市教育委員会発行 pp107-108)より、一部抜粋で紹介し

ます。
私たち大人は、このような戦争の歴史、悲しみの経験から、次世代を生きる子どもたちに何を届けることができるのでしょうか。

～前略～ やがて父母たちが戻って来たが、和子の姿がない。和子は父とはぐれ人ごみにもまれながら山の方へ逃げたらしい。どうしたんだ、はぐれたとしても無事なら帰って来られるはずなのにと妙な予感がしないでもなかった。再び父が戻って来た。隣組の人の手を借りて和子を運んで来た。大怪我をしているようだ。どうも下半身が妙だ。布団に寝かす。「痛いよ」「痛いよ」とか細い声。すぐ幼年学校の軍医さんが来て見て下さった。うつぶせにした。思わずその傷の大きさにびっくりした。右腰が直撃を受けえぐられ、白く骨が浮き出てぱっくり大きく口を開けている。

軍医は首をひねって失礼ですがと一言。余りに無残な姿に涙も出ない。言葉も出ない。私は白いシーツを切ってぱっくり開いた傷口を幾重にも巻き、上向きに寝かしてやった。もう声にならない響きしか伝わらない。口は動いているのだが。母は黒くすすけた顔、手足をふいている。涙が流れている。こんな悲しいことはない。しずかにおかっぱをくしけずりしながら耳許に口を寄せてわびる母の声、ききもらすまいとわずく和子。こんな明るい良い子がどうしてこんな目に遇わねばならないのか。不運とはいえ、余りに残酷な仕打ちだと思ふ。化粧してやる母の指先にきらっと和子の涙が流れる。朝露のような一滴。唇は一筋の桃色。

きれいな素顔に返ったと思った瞬間、事切れていた。「苦しかったろうな」「短い生命の女の子」と口の中でつぶやいた私。翌日皆様の協力で西側の畑地の中でだびに付した。野辺の送りであった。和子の学用品、大好きだった日本人形と一緒に不運な子は昇天した。横山村第二国民学校六年生、数えて二歳だった。

令和9年度の学童保育所の利用者の募集が始まっています！

☑電子申請 10/1～10/14 ☑窓口申請 10/15～10/30

現在、学校運営協議会では、教育委員会放課後児童支援課からの支援・助言を賜りながら、令和9年度以降の放課後子ども教室の運営や運営組織について協議を進めているところで、令和9年度から新校舎での学校生活が始まりますが、校庭整備完了（～令和10年8月）まで使用できないため、放課後子ども教室の活動場所の確保が課題となっています。そのため校庭整備完了までは、放課後子ども教室の開室が現在よりも縮小となる可能性が見込まれます。放課後のお子様の居場所の確保を希望される場合は、学童保育所の申請をお忘れなくお願いします。

オンライン申請も

来年4月からの
学童保育所の利用者を募集

放課後児童支援課
☎620・7246 ☎649・6094

募集する学童保育所など、詳しくは募集案内、または子育て応援サイトをご覧ください。現在利用中の方も改めて申し込みが必要です。

※小学1～3年生（障害のあるお子さんは4年生まで）
毎月7,000円

募集案内・申請書の配布 市役所7階放課後児童支援課、各学童保育所・こども家庭センター、八王子駅南口総合・浅川・由木・南大沢・元八王子・北野事務所、または子育て応援サイトで

※10月1～14日に子育て応援サイトから電子申請を行うか、必要書類を持って10月15～30日に直接、各学童保育所、または放課後児童支援課へ

たがのもりの夏まつり

8月2日（土）に、第二小学校の校庭でPTA主催による地域合同の夏まつりを実施しました。1学期に第四中学校において生徒ボランティアを募ったところ、48人のボランティアスタッフが集まりました。ボランティアスタッフは、お祭り前日の準備から参加しました。テントの設営や机運びなどを行い、当日を迎えました。令和7年度に引き続き、第七小学校おやじの会の方も参加してくださいました。また、子供たちに大人気の、9第二小学校の教員によるお店も出店しました。

暑い中での開催でしたが、ボランティアスタッフは、スーパーボールすくいや輪投げ、ポップコーンやかき氷などの運営を行いました。たくさんの児童・生徒そして地域の方が参加し、とても盛り上がるお祭りとなりました。

前日準備・当日の様子



いじめ防止研修

8月28日（金）に、第四中校舎において、第二小・第四中教職員が一堂に会し、いじめ防止研修を実施しました。

いじめの定義について、改めて確認するとともに、事例をとおして対応の在り方を協議することができました。



2学期始業式

8月28日（金）第二小校舎と第四中校舎をオンラインでつなぎ、2学期始業式を実施しました。



二小校舎より

2学期が始まりました。長い夏休みを終え、子供たちの元気で明るい声が学校に戻ってきました。2学期には「スポーツフェスティバル」や「展覧会」など多くの行事があります。保護者・地域の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

教育実習

9月7日から10月2日まで、2名の学生が教育実習を行っています。子供たちと触れ合いから多くのことを学んでいます。



9月12日 道徳授業地区公開講座

道徳の授業公開と本校 SC 花田先生より「子育てのイライラと上手く付き合う」をテーマに講演会・意見交換会を開催しました。多くの保護者・地域の皆様の参観ありがとうございました。



9月15日・16日 こだま宿泊学習

「自分のことは自分でやる」をテーマに宿泊学習を行いました。1日目は東京タワー見学をして、国立オリンピック記念青少年総合センターに宿泊しました。2日目はカンドウーで様々な職業体験をすることができ、充実した2日間でした。



9月25日 3年生市内めぐり（社会科見学）

加住養蚕農家を見学し、タヤけ小やけふれあいの里でお昼を食べて、磯沼牧場に行きました。1学期に育てた蚕のことを思い出しながら、養蚕農家の方の話を聞きました。



第四中学校舎から

第2学年 職場体験

9月8日（火）～10日（水）にかけて、第2学年は職場体験を実施しました。29の事業所に赴き、3日間の実習を行いました。初日はまだ慣れない様子がありましたが、3日目になると作業にも慣れ、様々な業務に取り組むことができました。「もう少し実習を続けたかった」「仕事の大変さがよくわかった」などの感想がありました。職場体験では、地域の事業所にお世話になりました。また、保護者の方に事業所を紹介していただきました。生徒らは、感謝の気持ちをもって取り組みました。令和9年度もよろしくお願いします。

デイサービス



給食センター



ガソリンスタンド



生徒会役員選挙立会演説会

9月18日（金）に生徒会役員選挙・立会演説会を開催しました。生徒会活動の本部役員を決めるため、5名の生徒が立候補し、演説をしました。それぞれ、四中をより良くしていくためにと熱の入った演説でした。演説を聞く生徒らの表情も真剣で、生徒全体で学校を盛り上げていこうという姿勢が見られました。

また、令和7年度度引き続き、第二小6年生が立会演説会を傍聴しました。演説会の後には、模擬投票を行いました。義務教育学校開校へ向け、児童・生徒会活動や学校作りについて共に考える時間となりました。



第1学年 ハケ岳移動教室

9月25日（金）、26日（土）に第1学年はハケ岳で体験学習を行いました。2日目は雨の中での活動となりましたが、2日間元気に過ごすことができました。1日目はハケ岳ふれあいセンターでSDGs体験学習、2日目はハケ岳農業大学校での実習を行いました。普段の生活ではなかなかできないことを沢山経験することができました。

SDGsレンジャープログラム



農業大学校での活動



10月 行事予定

	曜	第二小学校	曜	第四中学校
1	木	PTA読み聞かせ(こだま) 5h委員会活動	木	都民の日 中間考査
2	金	教育実習終 開校記念日 部活動見学(6年) ALT⑧	金	中間考査 部・クラブ活動体験
3	土		土	
4	日		日	
5	月	全校朝会 スポーツフェスティバル時程始	月	専門委員会
6	火	特別時程 スポーツフェスティバル係児童打合せ(5年・6年)①	火	赤ちゃんふれ合い事業(3年・3年7組)
7	水	特別時程 小中一貫教育の日 玉川大学外国語活動	水	小中一貫教育の日
8	木	水泳指導(こだま)	木	全校朝会 水泳指導(1年)
9	金	図書ボランティア(10:30~) 四中での授業「地域安全マップを作ろう」(6年)	金	職場体験学習発表会(2年) 地域の水害から身を守る学習発表会(3年)
10	土		土	
11	日		日	
12	月	スポーツの日	月	スポーツの日
13	火	スポーツフェスティバル係児童打合せ(5年・6年)②	火	避難訓練
14	水	スポーツフェスティバル全体練習①	水	専門委員会 脊柱側彎症検診
15	木	水泳指導(こだま)	木	水泳指導(1年)
16	金	スポーツフェスティバル予行練習 ※富士森競技場	金	スポーツフェスティバル予行練習 ※富士森競技場
17	土		土	水泳指導(3年)
18	日		日	
19	月	全校朝会 スポーツフェスティバル学年練習 ※富士森競技場にて スポフェス係児童打合せ(5年・6年)③	月	進路説明会(3年)
20	火	スポーツフェスティバル予行練習予備日	火	スポーツフェスティバル予行練習予備日 ※弁当持参
21	水	スポーツフェスティバルリハーサル ※二小校庭にて	水	
22	木	水泳指導(こだま)	木	生徒会朝会
23	金	4時間授業(全学年) スポーツフェスティバル前日準備 スポーツフェスティバル前日リハーサル ※二小校庭にて	金	スポーツフェスティバル前日準備
24	土	スポーツフェスティバル ※弁当持参	土	スポーツフェスティバル ※弁当持参
25	日		日	
26	月	4時間授業(全学年) 避難訓練	月	
27	火	スポーツフェスティバル予備日 ※弁当持参	火	スポーツフェスティバル予備日 ※弁当持参
28	水	振替休業日	水	振替休業日
29	木	水泳指導(こだま)	木	水泳指導(1年)
30	金	生活科見学(1年・2年) ALT⑨	金	
31	土		土	